

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

大和重工株式会社 吉田工場

(2) 事業所の所在地

広島県 安芸高田市 吉田町 川本763

(3) 業種

2251 鋳鉄铸件製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25（2013）年度を基準年度とし、令和3（2021）から令和12（2030）年度までの10年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)		目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))			
	平成 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産量(t)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))			
	平成25年度 (2013)	令和12年度 (2030)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
エネルギー 起源CO2	1.81	1.63 10.0	2.24 -23.8	2.11 -16.6	2.43 -34.3	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン	0.001	0.001 10.0	0.001 0.0	0.001 0.0	0.001 0.0	100.0	100.0
一酸化二窒素	0.002	0.002 10.0	0.002 0.0	0.002 0.0	0.002 0.0	100.0	100.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	1.81	1.63 10.0	2.24 -23.7	2.11 -16.6	2.43 -34.2	100.0	100.0
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	1.19	1.07 10.0	1.55 -30.3	1.42 -19.3	1.66 -39.5	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	昨年度 (令和4年度) の原単位 (1.42) と比べると原単位が悪化している。生産量が減少した事が影響した。目標を達成する様設備更新等計画し、削減に取り組む。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	電気使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> <li>・LED照明へ更新 水銀灯⇒LEDへ更新（28箇所） 蛍光灯⇒LEDへ変更（9箇所）</li> <li>・エア漏れ点検の実施（毎月）</li> <li>・エアコンの更新（1台）</li> <li>・休憩時間及び、未作業場所の照明消灯の徹底</li> </ul>
2			
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。